

結婚応援事業による

成婚数が県内1位に

昨年度、本市の結婚応援事業により23組のカップルが成婚しました。自治体が関わる事業としては、県内で1番多い成婚数となりました。

恋活・婚活イベント「はーとピー」やボランティア仲人「縁むすびさん」事業、市が拡充協力した社会福祉協議会の結婚相談所「HappyMar」などによるもので、専門部署を設置した2016年度以降の累計成婚数は、60組に上ります。

多様な価値観、多様な結婚の形を踏まえ、今後も結婚希望者を応援します。
《問合せ》健康増進課ハートトリフ推進室 ☎21-9100



▲2016年に開催した「はーとピー“恋のクリスマス大作戦”」で出会ったカップル

2020年度

新任職員辞令交付式

4月1日、本庁舎大会議室において新任職員辞令交付式を行いました。

市長は訓示で「失敗しても逃げるな・隠すな・うそをつくな」と、危機管理の基本を話し「誠実に仕事に向き合う職員」としての心構えを説きました。新型コロナウイルスの感染拡大防止を促すとともに「感染のリスクは誰にでもあり、決して感染した人を批判してはいけない」と強く伝えました。その後新任職員は「公務を民主的かつ能率的に運営すべき責務を深く自覚し、職務を執行する」と誓いました。

《問合せ》人事課 ☎23-1326



▲2020年度豊岡市新任職員34人が出席(大会議室)

市政 ニュース

主な市政の動き

〔3月〕

- 11日・中具市長と嶋教育長が新型コロナウイルス感染症対策で休校中の小学生にメッセージ
- 12日・第2回新型コロナウイルス感染症警戒本部会議
- 14日・初の市役所採用内定者入庁前研修
- 16日・市立小・中学校再開
- 17日・市県民税の申告相談期間を延長(4月16日)
- 市立中学校卒業式

〔4月〕

- 19日・市立小学校卒業式
- 23日・第3回・4回新型コロナウイルス感染症警戒本部会議(7日・第5回)
- 1日・新任職員辞令交付式
- 6日・豊岡農業スクール入学式
- 7日・市立小・中学校始業式
- 第1回新型コロナウイルス感染症対策本部会議(8日・第2回)
- 8日・市立小・中学校入学式



※掲載している情報は編集時点(4月13日)のもので、変更になっている場合がありますので、ご注意ください。

3施設共同企画展を初開催

ISDRSI 磯人麗水

3月20日から4月7日まで、市立美術館「伊藤清永記念館」で、城崎国際アートセンターと市立美術館、日本・モンゴル民族博物館の3施設による初の共同企画展「ISDRSI 磯人麗水」を開催しました。

画家・伊藤清永の絵画「磯人」などを起点に、同センター滞在アーティストの田村友一郎さんが構想。15人のアーティストが、豊岡の文化資源を生かした映像やイラスト、絵画などで、空間全体を作品として表現しました。

《問合せ》城崎国際アートセンター
☎ 32-33888



▲3月20日、市立美術館では、田村友一郎さんや堤拓也さんらを迎えオープニングフォーラムを開催

2019年度

市交際費執行状況の公開

市長などが、市を代表して対外的な活動などを行うために支出した交際費を公開します。詳細は、秘書広報課の窓口で閲覧できるほか、市ホームページにも掲載しています。

《問合せ》秘書広報課

☎ 23-11114

詳しくはこちら▼



市ホームページ内のページ番号

1009686

検索

区分	金額
御祝(祝金)	235,000円
御祝(清酒等)	219,292円
御供(香典等)	240,000円
御供(供花)	207,540円
見舞金	200,000円
会費・負担金	444,000円
贈答品	29,952円
協賛	69,600円
市政PRグッズ	365,185円
合計	2,010,569円

▲市交際費の執行状況 (2019年4月~2020年3月)

中見市長の徒然日記 ⑩

何が正しいか分からないとき

大変な事態です。この徒然が皆さんのお手元に届く頃、世の中がどうなっているのか、正直見当もつきません。敵の姿が目に見えない中で、ぼくたちは、次から次に意思決定を迫られています。

例えば、小中学生を登校させると、自宅待機に比べ、どれほど子どもたちの感染リスクが高まるのか？子どもたちが家に帰って祖父母にうつす可能性がどれほど高まるのか？国の専門家会議は、「子どもは地域において感染を拡大する役割をほとんど担っていない」と言っています。

他方で、自宅待機をさせた場合、ゲーム漬け、偏食、運動不足などが生じ、ストレスがたまり、安全面でも不安になる等多くの問題が生じます。感染リスクとどちらをどれくらい重視したらいいのか？専門家ですら確信を持ってない状況が多くあります。

こんなとき大切なことは、底の浅い知識や正義を振りか

ざして誰かを責め立てることではなく、一緒になって考えることです。相手を打ち負かすのではなく、客観的事実をできるだけ積み上げ、それに基づいて推論し、より確からしい結論を一緒に作り上げていくことです。今、市役所は、そう努めています。

大切なことを一つ。感染症専門医の岩田健太郎神戸大教授は、感染者を非難するのは間違いと断言しておられます。今や誰もが感染する可能性を持っていて、しかも、感染で叩かれるとすると、陽性者は感染経路を隠してしまい、感染防止が困難になるからです。自分自身のためにも、感染者を非難してはいけません。

私たちは、疲れがたまってくる、つい人に辛く当たりがちになります。しかし、もし私たちが家族や他人に攻撃的になっていくとすると、それは相手のせいではなく、新型コロナウイルスのせいです。一度深呼吸をして、やさしさと思いやりを取り戻し、力を合わせて困難に打ち勝っていきたいものだと思います。